

2025年1月7日
富士吉田市
富士急行株式会社
富士急バス株式会社
BOLDLY 株式会社

【富士吉田市 自動運転 EV バス実証実験第2弾】
市街地公道（富士みち）における実証実験
2025年1月31日（金）より開始

～持続可能なまちづくり・富士山のオーバーツーリズム対策と脱炭素化へ～



※運行車両イメージ

山梨県富士吉田市（市長：堀内茂）、富士急行株式会社（山梨県富士吉田市、取締役社長：堀内光一郎）、富士急バス株式会社（山梨県南都留郡富士河口湖町、取締役社長：古屋毅）、BOLDLY 株式会社（東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：佐治友基）は、持続可能な地域公共交通の実現を目指し、自動運転 EV バス運行の実証実験（以下「本実証」）を実施しています。

2024年11月には富士山の麓から五合目を結ぶ自動車道「富士スバルライン」ルートにて実証を行いましたが、富士吉田市内の公道「富士みち」を中心とした市内を循環するルートにおける実証運行を2025年1月31日（金）～2月28日（金）に行うことを決定いたしました。

本実証は、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業補助金（自動運転社会実装推進事業）」の採択を受け、少子高齢化や運転士不足、訪日外国人観光客の急増等地域公共交通に関わる様々な課題の解決に加え、富士山のオーバーツーリズム対策や脱炭素化といった持続的な富士山の環境保全を図ることを目的に、地方公共団体、関係行政機関、交通事業者による【富士吉田市レベル4 モビリティ・地域コミッティ】を設立し、自動運転レベル4を見据えた取り組みとして実施するものです。

また今回は、自動運転システムと遠隔監視システムを搭載した新型の自動運転 EV バスを導入し、遠隔監視員及び乗務員を配置して自動運転レベル2で運行します。これにより、自動運転 EV バスの運行に関わる経営面や技術面、社会受容性を検証し、2025年度における自動運転レベル4の社会実装を目指します。

「富士みち循環ルート」は観光施設・商店街・公共施設などが集まる中心エリア

「富士みち」は富士山に向かって一直線にのびる道路で、ルート周辺は「商店街」「富士山駅」「世界遺産構成資産」の3つのエリアに分かれています。2023年度実証結果から、生活・観光路線としてのニーズを踏まえ、走行距離を約5km拡張させた循環型ルートへ変更し実施します。これにより、市役所や学校等の「生活・公共施設」エリアが加わり、地域住民に対する市内のアクセス向上に繋がるほか、訪日観光客の二次交通手段として地域の回遊性向上や地域経済への波及効果が期待されます。

また、ルート上の宮川橋北詰交差点では、交差点信号柱に設置した3Dセンサー等で構成される路側機により検知した歩行者や自転車の通行状況を車両側に伝達する「路車協調システム」と、今回初となる信号機灯色の変化の情報を予め車両側へ伝達する「信号協調システム」の実証実験を実施し、自動運転の走行安全性向上について効果検証を行います。

■「富士みち循環ルート」概要

【走行ルートイメージ】



①商店街エリア

昭和レトロでノスタルジックな街並に、カフェ、居酒屋、ショップなどが集積



③生活・公共施設エリア

市役所、市民ふれあいセンター、高校などの公共施設のほか、郵便局、銀行、飲食店、食料品店などが集積



②富士山駅エリア

交通結節点（電車、バス、タクシー）、百貨店、飲食店、病院、銀行、交番、観光案内所などが集積



④構成資産エリア

世界文化遺産「富士山」の構成資産が集積
旧外川家住宅、北口本宮富士浅間神社



■運行内容

一般運行期間：2025年1月31日（金）～2月28日（金）

運行区間：富士みちを中心とした富士吉田市内を循環するルート 全長約7km

運行本数：1日6便（10:00～16:05）

乗降場所：19カ所 ※運行ダイヤは[こちら](#)

乗車運賃：無料（乗車後のアンケート回答必須）

運行体制：乗務員1人、遠隔監視員1人

デジタル技術を活用した乗車予約の検証について

社会実装に向けてデジタル技術を組み合わせた新たな地域公共交通のあり方を検証するため、今回モビリティ予約プラットフォーム「SEKITORI」（運行事業者・富士急行株式会社所有）を新たに活用します。なお、予約開始は2025年1月7日（火）12時からとなります。

■予約・当日の乗車方法

乗車予約：事前予約制です。お住まいの地域により予約方法が異なります。

①富士吉田市民の方

[こちら](#)より会員登録をお願いします。

[SEKITORI](#)にてログイン後、ご利用日・区間・人数・座席を選択しご予約ください。

②富士吉田市以外の地域にお住まいの方

[SEKITORI](#)にてご利用日・区間・人数・座席を選択しご予約ください。

※予約の変更は不可となります。一度キャンセルし新規ご予約をお願いします。

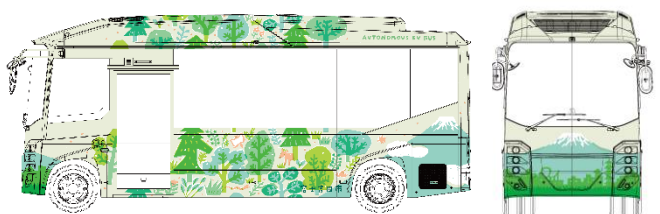
※各便の定員は13人です。

乗車方法：当日は予約時に発行されたQRコードを車内係員にご提示ください。

新型の自動運転EVバスを導入し車体をオリジナルラッピング

今回、メーカーTIER IV^{ティアフォー}の新型自動運転EV「Minibus 2.0」を導入します。車体は富士吉の街並みや富士山の大自然をイメージした可愛イラストでラッピングされます。

※車両はイメージ



<実証運行の概要>

- 運行車両 TIER IV Minibus 2.0 (BYD J6)
ティアフォーミニバス
- 運行速度 35km/h 以下 ※手動走行時の最大速度 70 km/h
- 乗車定員 16 人 (乗務員 1 人含む)
- 公式サイト <https://special.fujiyama-navi.jp/>
- 公式 SNS ①FUJIYOSHIDA 自動運転 EV バス → [X \(旧 Twitter\)](#)・[Instagram](#)・[Facebook](#)
②富士スバルライン自動運転 EV バス → [X \(旧 Twitter\)](#)・[Instagram](#)・[Facebook](#)

■実施体制

【富士吉田市 レベル4 モビリティ・地域コミッティ】

富士吉田市
富士急行株式会社
富士急バス株式会社
BOLDLY 株式会社
富士河口湖町
鳴沢村
関東運輸局
関東地方整備局
関東経済産業局
関東総合通信局
山梨県警察本部

【協力団体】

山梨大学 工学部／生命環境科学部 地域社会システム学科
慶應義塾大学 SFC 研究所
東京大学 都市デザイン研究室
武蔵野大学 都市学研究体
富士吉田商工会議所
一般社団法人富士五湖観光連盟
一般財団法人ふじよしだ観光振興サービス
株式会社ふじよしだまちづくり公社

- このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
 - このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。
-